



山口調理製菓専門学校長 須内章雅
Sunouchi Akimasa

○ 梅雨前

我が家では梅の実が膨らんできて枝が重そうにしています。近いうちに収穫をしたいと思います。梅という文字を使った「梅雨」がもうすぐやってきます。暑さが増してきて湿気が多くなるのは少々やかいですが、自然の流れですからうまくやり過ごしたいものです。この時期の水の恵みを待っている人々(植物)もいますね。災害になるような雨は降らないで欲しいものです。

5月が終わろうとしています。先日新入生アンケートを実施しました。現在集計中ですが、おおむね肯定的な意見がほとんどです。代表的な意見に多いのは「分かりやすい」「楽しい」ということばです。教職員としては「分かりやすい」というのは誇りにしていいと思います。しかしこれに甘えず、より分かりやすい方法を常に考えていきたいものです。「楽しい」という表現にはいろいろなニュアンスの違いがあると思いますが、「大変だけど、楽しい。」という表現を見たときには嬉しく思いました。

学生たちはそれぞれに充実した生活を送っているようですが、これから学習も一段と本格的になっていくにつれ、自分と他者との違い(差)を感じていくことでしょう。器用・不器用の違い、得意・不得意の違いなどにより、他者に出来る自分が出来ないという場面もあるでしょう。学習面の差・技術面の差というものはどうしても存在します。そこで「落ち込むな、前向きに！」と励まされてもなかなか気持ちは切り替えられないことでしょう。しかし、自分も持っている「よさ」というのは必ず誰にでも存在します。それを見つけてどう活かすかと考えてみてほしいと私は思います。ひょっとしたら在学中の短い1年間では見つからない人がいるかもしれませんが、焦らずに日々を大切に、自分自身に誠実に対応してほしいと思います。

具体的な事例の紹介は省略したいと思いますが、私自身のことです。私は現在それなりに歳を重ねています。もしも若返りの方法が見つかったとしたら活用してみたい気持ちはあります。そのときは30代以降に帰ってみたいと思いますね。そのころようやくある程度のやりがいが見つかり始めました。20代はある意味下積みの連続だったような記憶があります。まだ10代で20歳になろうとしているくらいの若者の皆さん、悩みや苦労があるのは“普通”のことですよ。

↓製菓衛生師科の実習風景 いろいろな手(腕)の動きを撮影してみました。



○ 自校自賛

どの学校でも卒業生がときどき訪ねてきますね。まだ私自身は本校の卒業生とは面識がありませんので、あまり話をすることはありませんが、お目当ての先生とは話が弾むようです。また、訪ねてくる回(人)数が本校は非常に多いと感じます。印象としては“毎日”という感じです。実習などでの具体的な学び合いの場が多いからでしょう。今後も訪ねやすい学校であり続けたいと思います。

今回の植物：セロリ 昔かつて私はその存在を知りませんでしたが、今は好きです。色々な料理にも活用されます。生のサラダはさわやかで特に美味しいと思います。↑





○ 青春時代

これは森田公一とトップギャランがヒットさせた45年前の歌の題名です。青春時代は素晴らしいと言われるが、実際には青春時代そのものは悩み、行き詰まり、大変なことばかりという内容でした。この歌を思い出したのはリカレントの閉講式のあいさつを考えていたからです。閉講式の時私は、「ここで学んだことを活かして皆さんがよい就職をされ、自分の居場所を見つけられることを祈念します。」というような内容のあいさつをしました。

私は最近「あなたにとって仕事とは何ですか？」と問われたときに「自分の居場所でしょうか。」と答えたことがあったので、あいさつで投げかけてみたのです。しかし、若い時の自分の仕事を振り返ってみると、そのときはとても居場所とは思っていませんでした。むしろ居たくない(行きたくない)場所と思っていたときでさえ、正直なところ少しあります。

閉講式を済ませ、これから新しい仕事に挑戦しようとしている受講生の皆さんは、仕事の青春時代ど真ん中ですね。悩むことも多くあるでしょう。そんなときに大切なことのひとつが“〇〇First”を考えてみることでしょう。この後の内容はすでに記述しましたので省略します。

あとからほのぼの思うことのもう一つに、子育てがあります。私は孫が居る歳になっていますので、自分の子育て時代を楽しく振り返ることもときどきあります。受講生の皆さんはこれまた子育て真っ最中ですので、今はたいへんなことばかりだと思います。しかし、いつかは必ず楽しく振り返ることができるはず。何事にも誠実に対応して行ってほしいと思います。

さて、何十年もたたなければ楽しく振り返ることはできないのかというと、そうでもないと思います。子育ての中で我が子のちょっとした笑顔を見たときに癒されるということはよくあります。仕事の中でも対応しているお客様の「お世話になりました。」などのことばにも救われるということがあられるでしょう。そういった小さな嬉しさを見つけていこうとすれば、困難も乗り越えていけそうですね。